

【別紙3】 事故にあわないために・事故が起こったら

～ 高速道路を安全に快適にご利用いただくために ～

●出発前に車をチェック！積み荷もチェック！

落下物は落とし主の責任です。高速道路上の落下物は非常に危険ですので、お出かけ前には、車の付属品等が脱落しないかの確認や積み荷の固定をお願いします。

《シートをかけ、ロープで固定》

長距離・長時間走行の場合は、途中のSA・PAで再点検をお忘れなく



また、**情報板で『落下物あり』**の表示を確認したら、速度を落とし、特に注意して走行しましょう。

●走行中は、十分な車間距離をとり、無理な割り込みをしない！

路面が乾燥していてタイヤが新しい場合は、100 km/時では約100mの車間距離をとる必要があります。走行速度や天候、路面・タイヤの状態等によりそれ以上に車間距離が必要となる場合もありますので、**十分な車間距離**をとってください。

また、割り込みをされた車が、急ハンドルを切ったり、急ブレーキをかけたりすることで、事故の原因



になることもあります。**車線変更をするときは、後続車を気遣う余裕**をもちましょう。

●万が一、事故が起こってしまったら、絶対に歩き回らない！

事故などでやむを得ず停止した場合は本線・路肩を歩き回らないでください。**高速道路は一般道とは違います！**同じ感覚での行動は絶対にやめ、速やかに車を路肩に移動させ、移動が不可能な場合は以下の項目を最優先してください。

⇒**後続車に合図！**

後続車の運転者が停止車両に気づいているとは限りません。**ハザードランプの点灯、発煙筒の設置、三角停止表示板を設置**し、後続車両に対する安全措置を行ってください。



⇒**安全な場所へ避難！**

運転者も同乗者も全員、通行車両に十分注意しガードレールの外側など**安全な場所に待避**してください。**車の中に留まることは危険**です。



⇒**避難をしてから通報！**

110番・非常電話・道路緊急ダイヤル(#9910)などで通報！
※非常電話は本線上1kmおき、トンネル内は200mおきに設置



●旅行計画を立てる前・お出かけ前にもご確認ください

NEXCO東日本の情報サイト『ドラぶら』でも、高速道路を安全に快適にご利用いただくために、お客さまに知っていただきたい情報などを提供しています。(http://www.driveplaza.com/safetydrive/)